

平成23年度高圧ガス製造保安責任者等試験に係る
甲種機械の学識試験問題の誤りについて

平成23年12月27日
高圧ガス保安協会

11月14日にホームページに掲載した通り、平成23年11月13日（日）に実施した平成23年度高圧ガス製造保安責任者等試験の甲種機械、学識試験問題の問2に誤りがありました。受験者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことについて、改めて深くお詫び申し上げますとともに、今後、このようなことがないように、試験問題については一層厳格なチェックを行います。

今回の学識試験問題の誤りへの対応について高圧ガス試験委員会で検討を行い、以下の通り対応することと決定しましたので公表致します。

甲種機械：「学識試験問題」の問2 問題文 抜粋

問2 水槽A、水槽Bが下図のようにサイフォン管（内径 $d = 100\text{mm}$ ）によって連結され、水槽Aから水槽Bに 30℃ の水（密度 $\rho = 1000\text{kg/m}^3$ ）が流れている。次の各問について、解答用紙の所定欄に答えよ。

ただし、次の条件とする。

- ・ 図中で、水面①、点②、水面③、点④の圧力（静圧）[Pa]を p_1 、 p_2 、 p_3 、 p_4 、平均流速[m/s]を u_1 、 u_2 、 u_3 、 u_4 、基準面からの高さ[m]を h_1 、 h_2 、 h_3 、 h_4 とする。
- ・ 水槽A、水槽Bの液面は常に一定に保たれ、大気圧 $p_0 = 101.3\text{ kPa}$ （絶対圧力）が作用している（ $p_1 = p_2 = p_0$ ）。

（以下省略）

下線部において $(p_1 = p_2 = p_0)$ とあるが、正しくは $(p_1 = p_3 = p_0)$ である。

今回の学識試験問題の誤りについて、次の通り対応いたします。

- ・ 甲種機械の学識試験問題全体を採点の対象といたします。
- ・ ただし、問2については、問題文中の条件である $(p_1 = p_2 = p_0)$ との前提でも、当該条件は誤りとして $(p_1 = p_3 = p_0)$ との前提でもいずれも解答可能な（2）まで（ただし、正解は条件によって異なります）を合格判定基準の対象とし、解答可能な設問の合計点である90点をベースとして、6割にあたる54点以上を合格基準とします。
- ・ なお、問題文中の条件は誤りとして $(p_1 = p_3 = p_0)$ との前提等で（3）以降を解答している受験生については（3）及び（4）の採点結果を含めて合格判定の対象としますが、この場合でも54点以上を合格基準とします。